

努力の壺（つぼ）

先週で期末テストが終わりました。手応えはどうでしたか。「今回はけっこうがんばったので、結果も期待している。」という人もいますでしょう。それは、大変素晴らしいことです。一方、「自分ではがんばったけれど、手応えは今ひとつだった。」という人もいます。と思います。「がんばっても自分には無理なのかな。」と、落胆している人もいるかも知れません。



コツコツがんばれば報われる

この話は知っている人もいます。ある小学校二年生の女の子が、お母さんから聞いた話を作文にしたものです。（一部抜粋）

人が何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思ったとき、神様から「努力のつぼ」をもらいます。

そのつぼには、いろいろな大きさがあって、人によって、大きいのやら、小さいのやらいろいろあります。

そのつぼは、その人には見えません。でも、その人がつぼの中に、一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまっていきます。いつか「努力」があふれるとき、つぼの大きさがわかる、というのです。だから、休まずつぼの中に努力を入れていけば、いつか、必ずできるときがくるのです。

・・・中略・・・

何かをがんばってやっているとき、お母さんに頼んで、この話をしてもらいます。くじけそうな時でも、この話を聞いていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして、私の「努力」がもう少しであふれそうに見えるので。だから、またがんばる気持ちになれます。

努力をしても、すぐに成果が現れたり、何かができるようにはなりません。それでも休まずに「努力」をつぼの中に入れていけば、いつかその努力はつぼからあふれて、目標が達成されるのです。

「日本で一番熱い男」と称される、元プロテニスプレーヤー、松岡修造さんがこのように語っています。

100回たたくと壊れる壁があったとする。
でもみんな何回たたけば壊れるかわからないから、
90回まで来ていても途中であきらめてしまう。



努力のつぼをもらうなら、なるべく小さいつぼの方がいいですね。

でも、大きなつぼをもらうのもステキなことです。大きなつぼはいっぱいになるまでに時間がかかります。でもあきらめずに一生懸命努力を続け、大きなつぼをあふれさせたとき、ずっと大きな達成感や感動が生まれます。自分のつぼの中に努力がどんどんたまる、そんな毎日にしていきたいですね。あなたはどんなつぼを持っていますか。

